

授業概要

東アジア、東南アジア諸国のほとんどが太平洋戦争中、日本による占領、軍政を経験したという共通の歴史をもつ。そして現在も、アジア諸国と日本の間には、多くの未解決の課題が残されている。こうした背景となるアジア諸国の近現代史を、日本との関係を中心に講義する。また現代日本におけるアジアの位置付け、日本人のアジア認識の形成について、歴史的に講義する。

授業計画

第 1 回	敗戦から独立へ
第 2 回	講和会議と日米安保条約
第 3 回	中国
第 4 回	台湾
第 5 回	朝鮮半島① 植民地統治
第 6 回	朝鮮半島② 朝鮮戦争
第 7 回	朝鮮半島③ 日韓条約
第 8 回	東南アジア
第 9 回	マレー半島
第 10 回	ミャンマー
第 11 回	インドネシア
第 12 回	フィリピン
第 13 回	ヴェトナム
第 14 回	タイ
第 15 回	まとめ
第 16 回	筆記試験またはレポート

到達目標

- ①アジア諸国の近現代史に関する、基礎的な歴史知識を習得し、世界史全体の流れのなかで理解できる。
- ②今日なお残るアジア諸国との問題について、日本との歴史的関係から理解できる。

履修上の注意

近現代史が中心であり、古代中世史に関しては必要最小限にとどまる。
高校までの歴史の教科書で、日本とアジアの基本的な知識をまとめておくこと。
配布されたプリントを読むこと。

予習・復習

授業計画に従って、該当国と日本との基本的な知識を予習しておくこと。
講義後は、配布されたプリント、参考文献などを読んで知識を深めておくこと。

評価方法

授業中の態度、リアクショペーパーの内容 50%、学期末の筆記試験またはレポート 50%

テキスト

テキストは使用しない。授業中にプリントを配布する。参考文献は適宜紹介する。